



自然環境と調和のとれた砂防事業の推進を目指して

～「飯豊山系砂防事務所アドバイザー会議」を開催しました。～

飯豊山系砂防事務所では、荒川、胎内川、加治川の各流域において、地域の皆様のくらしと生活を土砂災害から守るため砂防事業を実施しています。また、事業実施にあたっては、「飯豊山系の豊かな自然環境を大切に、調和のとれた砂防事業を推進する」を一つの使命として事業を行っています。

この度、地元に関わる環境などの学識者等からなるアドバイザーの方々にお集まり頂き、「飯豊山系砂防事務所アドバイザー会議」を開催し、砂防事業の調査・計画立案、工事中及び工事完了後の各段階における自然環境等への配慮事項等について指導・助言を頂きました。

当事務所では、今回頂いた意見を今後の事業に反映し、引き続き、自然環境に調和した砂防事業を推進していきます。

1. 開催概要

日 時:7月21日 13:15～14:45

場 所:関川村公民会館大会議室

内 容:①平成23年度事業概要について

②既往の自然環境調査結果概要及び、平成23年度調査内容について

③意見交換

2. アドバイザー

小田 辰兵衛 氏(元胎内フラワーパーク栽培指導員)

権田 豊 氏(新潟大学農学部准教授)

本間 隆平 氏(新潟県野鳥愛護会顧問)

箕口 秀夫 氏(新潟大学農学部教授)

※五十音順

3. 頂いた主な意見

- ・保全しようとする自然環境のあり方や砂防事業の進め方について関係機関等と合意形成を図ることが重要である。
- ・土砂や流木の詰まりにより機能していない魚道もあるのでメンテナンスをしっかりと実施。
- ・工事関係者に対しても、自然環境保全に関する啓発活動を行う必要がある。
- ・継続して自然環境に配慮した取り組みが行われていることに敬意を表す。引き続き、自然環境の保全に努めて頂きたい。

